

TPPに関する主要閣僚会議(第18回)の開催について

平成29年5月30日
内閣官房

本日(5月30日(火))8時45分から約15分間、官邸2階小ホールにおいて、TPPに関する主要閣僚会議(第18回)が開催されたところ、概要は以下のとおりです。

1. 主な参加者

安倍 晋三	内閣総理大臣
菅 義偉	内閣官房長官
石原 伸晃	経済再生担当大臣
岸田 文雄	外務大臣
麻生 太郎	財務大臣
山本 有二	農林水産大臣
世耕 弘成	経済産業大臣
萩生田 光一	内閣官房副長官
野上 浩太郎	内閣官房副長官
杉田 和博	内閣官房副長官

2. 主な議事内容

- 最初に、ハノイで開催されたTPP閣僚会合について、TPPの将来に向けた今後の方向性等について意見交換を行い、11か国の結束が重要であるとともに、モメンタムを維持する必要があることで一致し、TPPの早期発効を追求するという閣僚声明を発出したこと等を報告した。
- 次に、岸田外務大臣、山本農水大臣及び世耕経産大臣から、TPPの今後の方策の検討に関して、緊密に連携して対応していく旨発言があった。
- 最後に、安倍総理から、TPPの早期実現を図るための方策の検討について、スピード感を持って議論を前進させるため、7月に日本で開催される事務レベル会合の議長国としての我が国の役割が決定的に重要であり、石原大臣を中心に関係閣僚が一丸となって11か国の議論を主導するようお願いしたい旨指示があった。

(以上)